

# 国立精神・神経医療研究センターで「パーキンソン病および関連疾患患者における姿勢異常の病態解明の研究」に試料・情報を提供いただいた方へ (ご参加いただいた方へ)

このたび、国立精神・神経医療研究センターで「パーキンソン病および関連疾患患者における姿勢異常の病態解明の研究」でご提供いただいた試料・情報の一部を、下記の研究のために使用いたします。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、使用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究で試料・情報を使用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の試料・情報を使用して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないとし出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

## 1. 対象となる方

パーキンソン病および関連疾患患者における姿勢異常の病態解明の研究に参加された方  
研究課題名: パーキンソン病および関連疾患患者における姿勢異常の病態解明の研究 (承認番号 A2024-044)

研究責任者: 国立精神・神経医療研究センター (病院) 身体リハビリテーション部 加藤 太郎  
該当の期間: 2024 年 7 月 ~ 2027 年 3 月

## 2. 試料・情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

該当なし

## 3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: パーキンソン病および関連疾患患者における姿勢異常と運動学的・筋生理学的要因の解明

研究期間: 研究実施許可受領後 ~ 2030 年 12 月 1 日まで

研究代表者 (研究責任者): 国立精神・神経医療研究センター 身体リハビリテーション部 加藤太郎

## 4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報等: 過去の診療録に保存された運動機能データ (MDS-UPDRS Part III, Timed Up & Go, 10m 歩行速度, 既存の姿勢解析データ)

(取得方法) 診療録から入手

## 5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究の目的は、パーキンソン病および関連疾患における姿勢異常、特に腰曲がりの運動学的および筋生理学的特徴を明らかにすることです。具体的には、既存のリハビリテーション評価データ (先行研究承認番号 A2024-044 において同意取得済みの 50 例) を匿名化して二次利用し、臨床で日常的に記録されている運動機能評価結果 (MDS-UPDRS, Timed Up & Go など) と照合することにより、腰曲がりの重症度と運動機能との関連を明らかにすることです。一部の対象者には新たに筋電図 (EMG) 解析を実施します。加えて、通常診療の一環として前庭機能評価を実施される場合には、その結果を用いて、姿勢保持および体幹前屈に關与する腹部筋・背部筋の活動様式や前庭機能の影響を検討します。これらの新規取得データについては、文書同意を取得した対象者を対象とします。これらのデータを統合的に解析することで、姿勢異常の病態理解を深化させ、腰曲がりを有する PD 患者における評価体系と介入方針の確立に資する知見を得ることを目的とします。提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

## 6. 利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可受領後を予定しています。

## 7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

所属: 身体リハビリテーション部 氏名: 加藤 太郎

電話番号 : 042-341-2712 (内線 3864)

e-mail: tarokato99@ncnp.go.jp